

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	有害鳥獣（イノシシ）捕獲事業					
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り，活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施 策 の 内 容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H28決算額	2,947千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 2,947千円

【事業の概要】

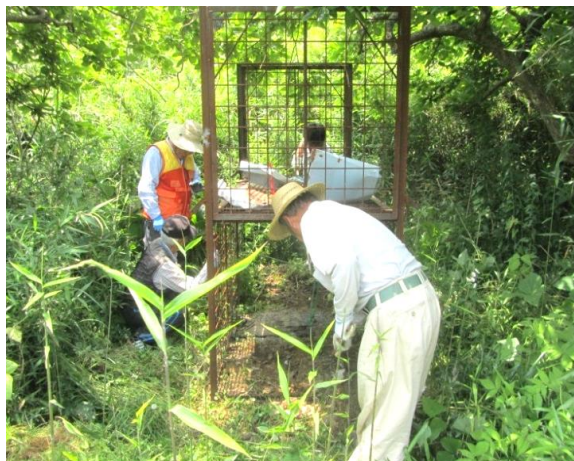
イノシシの個体数は増加傾向にあり、農作物への被害が減少しないため、県イノシシ保護管理計画に基づき、有害鳥獣捕獲を実施し、農作物被害防止及び市民生活の安全を図ります。

捕獲業務は、わな免許等の狩猟免許を有する者で組織された捕獲隊へ委託しています。

「土浦市・かすみがうら市農作物鳥獣被害防止計画」に基づき、鳥獣生息域の隣接市と調整し、効果的・効率的な有害鳥獣被害の防止対策を進めています。



くくりワナ



箱ワナ設置状況

〔捕獲実績〕

年度	捕獲実施回数	延べ日数	捕獲頭数	猟友会会員数
24年度	5回	135日	67頭	128人
25年度	6回	242日	85頭	122人
26年度	4回	120日	75頭	144人
27年度	5回	254日	150頭	99人
28年度	5回	157日	148頭	94人

【事業の成果】

効果的なイノシシ捕獲計画の実施により、捕獲頭数は増えています。

今後は、狩猟免許を有する猟友会の会員の減少が顕著であるため、狩猟免許の取得についても対策を講じていきます。

款	農林水産業費	項	農業費				
事業名	担い手確保及び農地集積化事業						
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興						
施 策 の 内 容	4 安心安全を求める消費者ニーズに対応した生産流通体制の整備						
H28決算額	24,015千円	財源内訳	国県支出金 24,005千円	地方債	その他	一般財源 10千円	
【事業の概要】							
◎人・農地プラン作成事業 農業者の高齢化や後継者不足などによる農地荒廃化などの課題解決に向け、地域における今後の地域農業の中心となる経営体の位置づけや農地集積方法等を話し合いにより継続して見直し、地域の農作物の振興と農地の有効活用を促進していきます。 ○人・農地プランの見直し ・地区座談会 4回 ・検討会の開催 2回 ◎新規就農者支援事業 新たに農業経営に取り組む意欲がある就農者について、国の支援制度である「青年就農給付金」を活用して就農初期の負担軽減を図るとともに、関係機関等と協力し、経営安定に向けた営農指導を行います。 ○青年就農給付金給付実績 ・半期分 1,125千円×2名 = 2,250千円 750千円×2名 = 1,500千円 ・全期分 1,500千円×8名 = 12,000千円 - 計 15,750千円 ◎農地集積事業 農地の流動化を図り効率的な利用を推進するため、農地中間管理事業に取り組みます。あわせて、地区内の農地をまとめて賃借が行えるよう、農地集積協力金の活用を促します。 ○農地中間管理制度による農地の集積化 全貸付希望農地：317筆（54.4ha） そのうち 貸借成立：310筆（53.0ha）							
【事業の成果】							
「人・農地プラン」を継続的に見直し、新たに地域の担い手となる農業者を位置付け農地の利活用を図りました。 就農して間もない若手農業者に青年就農給付金による支援と経営の営農指導を行い、経営を継続させることができました。 農地中間管理事業により、53haの農地を担い手農業者に集積・集約化し、農地の有効活用と農業生産の効率化を図ることができました。							

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施 策 の 内 容	5 特産物の生産振興					
H28決算額	6,661千円	財源内訳	国県支出金 3,330千円	地方債	その他	一般財源 3,331千円

【事業の概要】

本市は、首都東京から約60km圏内に位置し、日本一の生産量を誇るれんこんを始め、米、葉菜、根菜、果実、花き、工芸作物、畜産と多種多様な農業地域となっています。また、霞ヶ浦の水産資源にも恵まれています。

この農林畜産物を活用した都市と農村の交流と加工品等の開発を進め、地域の農林水産業を活性化することで、交流人口の増加・まちの賑わいの創出を図り、地域経済の好循環を図ります。

- 農林水産物・特産品のPR手法の検討
- 農林水産物の活用方法等の研究開発
- 都市と農村の交流拠点施設の検討

「モニターツアー」等の実施による
潜在する価値と課題を掘起こし
↓ モニターツアーメニュー

◎小町の館を拠点とした「アクティブツアー」

- ・朝日峠展望公園までのハイキング
- ・野菜ソムリエとつくる「そばガレット」



朝日峠展望公園からの眺望



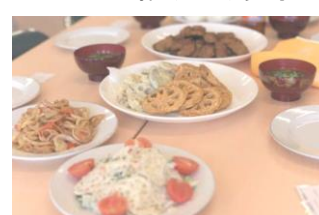
そばを使ったガレット

◎れんこんをテーマとした「れんこんづくしツアー」

- ・JA土浦れんこんセンター見学
- ・れんこん掘り取り作業見学
- ・霞ヶ浦と蓮田と筑波山の風景
- ・地元のお母さんの料理試食



れんこん掘り取り見学



地元のお母さんのれんこん料理

◎中心市街地での「水辺と歴史+ここだけの味覚ツアー」

- ・観光ボランティアの案内で蔵のまちを散策
- ・カレーフェスティバルの有名店で「れんこんカレー」を試食
- ・食材についてシェフと懇談



土浦の古い町並みを散策



れんこんカレーを試食

- ・農家等へのヒアリング
- ・れんこんを用いた商品の試作
- ・PRコンテンツのテスト作成

土浦ブランドアッププロジェクト基本構想策定

【事業の成果】

土浦ブランドアッププロジェクト基本構想策定にあたっては、農林水産事業者、加工品製造販売事業者・関連団体、野菜ソムリエ、レストラン経営者、観光ボランティア、土浦市観光協会、土浦商工会議所など多くの団体と個人の協力を得ることができました。

今後は、本構想に基づき各種事業を推進していきます。

款	農林水産業費	項	農業費			
事業名	田んぼアート事業					
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施 策 の 内 容	6 都市と農村の交流					
H28決算額	1,500千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
						1,500千円

【事業の概要】

自然豊かな農村の水田に、白・赤・黄・黒・緑の発色の異なる5品種の稲を都市住民と地元住民が協働して植え付けて「絵」を制作する「田んぼアート」を開催し、都市住民の農業への理解を深めるとともに都市と農村の交流を推進します。

また、「田んぼアート」は、小町の里周辺の観光資源として活用し、地域の農業の活性化を図ります。

○平成28年度実績

- ・デザインの一般公募 11点の応募
- ・田植え体験会 平成28年6月11日(土)
体験者46人
- ・田んぼアート観賞用のやぐら設置 平成28年7月15日(金)
- ・鑑賞会 平成28年8月11日(木、祝)
来場者 約300人
- ・稲刈り体験会 平成28年10月8日(土)
体験者43人



田植え体験会



田んぼアート観賞



観賞会おもてなしテント設置



稲刈り体験会

【事業の成果】

農作業体験を通じて、都市住民と地元農業者の交流を図ることができました。また、田んぼアートは観光資源として小町の館周辺の観光に寄与しました。

款	農林水産業費	項	農地費			
事業名	一般地帯土地改良事業（農道・かんがい排水事業）					
施 策 の 大 綱	2－3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	4 安全な食料を供給する農林水産業の振興					
施 策 の 内 容	2 農業生産基盤の整備と保全					
H28決算額	46,939千円	財源内訳	国県支出金 4,591千円	地方債 30,400千円	その他	一般財源 11,948千円

【事業の概要】

農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献するとともに、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定化を図ります。

○農道整備

- ・農用地区域の道路延長 約357km
平成28年度までの整備延長 196.9km（約55%）

○かんがい排水整備

- ・農用地区域の排水路延長 約93km
平成28年度までの整備延長 19.5km（約21%）

（単位：千円）

区 分	事 業 費	概 要
委託料	4,911	測量、実施設計委託
工事請負費	42,028	虫掛地内外
合 計	46,939	

- ・農道改良工 1地区 L=46m
（虫掛地区）
- ・農道舗装工 9地区 L=644m
（手野地区、今泉地区、永井地区、田村地区、菅谷地区、常名地区、本郷地区、大岩田地区、大志戸地区）
- ・排水路整備工 4地区 L=498m
（飯田地区、常名2期地区、田中地区、西真鍋地区）



舗装整備箇所



農道整備箇所



かんがい排水路整備箇所

【事業の成果】

大型機械の進入が可能になり、機械化農業に貢献するとともに営農効率を高め、農業経営の安定化に寄与しました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	企業誘致事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	6 創造性と技術力のある工業の振興と企業誘致					
施 策 の 内 容	1 企業誘致の推進と優遇制度の充実					
H28決算額	107,565千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 107,565千円

【事業の概要】

◎工業団地PR

市内の工業団地等に企業の立地を促進し、工業の振興と雇用機会の拡大を図ることを目的として、茨城県が大都市にて開催する工業団地立地説明会等に参加し、市内工業団地のPRを実施しました。

・国際物流総合展2016

開催日：平成28年9月13日（火） 参加企業：460企業 来場者数：24,002人

・いばらき産業立地セミナーIN大阪

開催日：平成29年2月14日（火） 参加企業：81企業 来場者数：137人

◎企業立地促進奨励金

市内4地区（東筑波新治工業団地、テクノパーク土浦北、土浦おおつ野ヒルズ、神立工業団地）又は、市街化区域内（土浦北IC、桜土浦IC周辺の指定路線区域を含む）に新增設する企業で、新增設に伴い市内に住所を有する者（市外からの転入を含む）を5人以上新規採用した企業に対して、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しています。

〔平成28年度奨励金交付実績〕

（単位：千円）

No.	企 業 名	金 額
1	日立セメント（株）	31,113
2	三協フロンテア（株）	24,273
3	（株）精工	13,431
4	（株）ABC	3,317
5	（株）アントレックス	16,557
6	（株）東精エンジニアリング	18,813
合 計		107,504

〔市内工業団地分譲状況〕

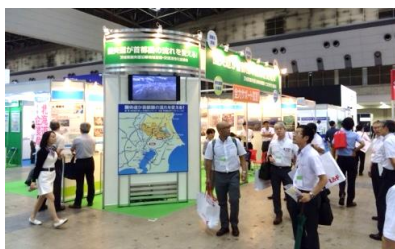
（単位：ha）

工業団地名	総 区 画	未 分 譲
土浦おおつ野ヒルズ	12区画（21.6）	3区画（7.8）

〔決算額内訳〕

（単位：千円）

区 分	金 額	概 要
企業立地促進奨励金	107,504	日立セメント（株）他5社
旅費等	61	国際物流総合展、産業立地セミナー参加
合 計	107,565	



国際物流総合展



産業立地セミナー



土浦おおつ野ヒルズ

【事業の成果】

茨城県や関係機関と連携し、国際物流総合展や産業立地セミナーにおいて、本市の工業団地等の地理的優位性及び優遇制度を広くPRすることができました。

款	商工費	項	商工費				
事業名	イルミネーション事業						
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり						
施 策 名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興						
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実						
H28決算額	7,592千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
						7,592千円	

【事業の概要】

商店街連合会で組織する土浦ウインターフェスティバル実行委員会が実施している「土浦ウインターフェスティバル」及び市民・事業者の有志が自発的に組織する水郷桜イルミネーション推進委員会が実施している「光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション」事業により、本市の玄関前である駅前及び霞ヶ浦総合公園にイルミネーションを設置し、冬の夜景を彩ることで、本市の賑わいの創出とイメージアップを図ることを目的に実施しています。

◎ウインターフェスティバル事業

主催：ウインターフェスティバル実行委員会

内容：土浦駅東口及び西口ペDESTリアンデッキ、ウララ広場等に装飾を実施

期間：平成28年11月29日～平成29年1月9日

◎霞ヶ浦観光にぎわい事業

主催：光がつくる“Art”水郷桜イルミネーション推進委員会

内容：オランダ型風車を中心に装飾を実施

期間：11月19日～2月19日

〔イルミネーション事業決算〕

(単位：千円)

	霞ヶ浦観光にぎわい事業	ウインターフェスティバル事業	合 計
市補助金	5,992	1,600	7,592



霞ヶ浦観光にぎわい事業



ウインターフェスティバル事業

【事業の成果】

土浦駅西口ペDESTリアンデッキや駅東口を中心としたエリア及び霞ヶ浦総合公園の風車や広場にイルミネーションを装飾することで、にぎわいの創出と地域の活性化を図るとともに、本誌のイメージアップに寄与しました。

款	商工費	項	商工費			
事業名	第85回土浦全国花火競技大会開催事業					
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施 策 名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興					
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実					
H28決算額	69,960千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 69,960千円

【事業の概要】

◎ 大会概要

第85回土浦全国花火競技大会

期 日：平成28年10月1日（土）

場 所：桜川畔学園大橋下流付近

競技内容：スターマインの部 22台、10号玉の部 45発、創造花火の部 22組の3部門、合計89作品（20都道府県57業者）の競技花火を打ち上げました。

大会提供花火：レクチャー花火

花火師登場

ワイドスターマイン「土浦花火づくし」

エンディング花火

◎ 事業決算額

（単位：千円）

区分	事業費	概要
補助金	69,960	花火大会事業補助金



大会提供ワイドスターマイン
「土浦花火づくし」



スターマインの部優勝
（株）紅屋青木煙火店



10号玉の部優勝
野村花火工業（株）

【事業の成果】

大会前日から開催当日の昼過ぎまで小雨に見舞われましたが、開催時間帯には天候も回復し、約70万人の観覧客数となりました。

大会では競技花火のみならず、レクチャー花火やエンディング花火において、7号玉85発を打ち上げました。また、今大会より花火鑑賞士会による「花火セミナー」を開催し、大会の魅力化に努め、本市のイメージアップに寄与しました。

大会の様子は、J：COM茨城や茨城放送で生中継がされました。

款	商工費	項	商工費								
事業名	花火大会プロモーション事業										
施 策 の 大 綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり										
施 策 名	7 自然・歴史的資源を生かした観光の振興										
施 策 の 内 容	4 観光行事の充実										
H28決算額	4,288千円	財源内訳	<table border="1"> <tr> <td>国県支出金</td><td>地方債</td><td>その他</td><td>一般財源</td></tr> <tr> <td>2,144千円</td><td></td><td></td><td>2,144千円</td></tr> </table>	国県支出金	地方債	その他	一般財源	2,144千円			2,144千円
国県支出金	地方債	その他	一般財源								
2,144千円			2,144千円								

【事業の概要】

本市最大の観光資源である土浦全国花火競技大会を活かしたまちづくりの方策や、新たな魅力創出により、まちの活性化を図り、将来的には本市のブランド力向上を目指すため、「花火を活かした観光プロモーション事業計画」を策定しました。

- 花火大会及び市の観光事業の把握
- 花火大会の課題の整理及び分析、花火を活かしたまちづくりの戦略方針の設定
- 花火を活かしたまちづくり事業の検討 など

(想定される事業イメージ)



都内でのプロモーション事業



花火の歴史書籍、ガイドブックの作成



花火グッズ販売



花火と商店街とのコラボイベント

【事業の成果】

花火大会をまちづくり戦略として活かすための方策を見出し、まちづくり資源として活用できるような方策及び実施に向け検討しました。